本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

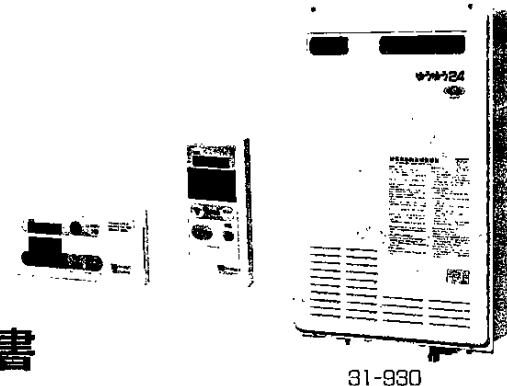
支社	所在地	電話	〒
大阪支社	大阪市西区千代崎3-2-95	電話 大阪 06 (586)3200	〒550
南部支社	堺市住吉橋町2-2-19	電話 堺 0722(38)1131	〒590
北部支社	高槻市藤の里町39-6	電話 高槻 0726(71)0361	〒569
東部支社	東大阪市稲葉2-3-17	電話 河内 0729(62)1131	〒578
兵庫支社	神戸市中央区東川崎町1-8-2	電話 神戸 078(360)3100	〒650
京都支社	京都市中京区烏丸御池梅屋町358	電話 京都 075(231)8151	〒604
奈良支社	奈良市学園北2-4-1	電話 奈良 0742(44)1111	〒631
和歌山支社	和歌山市本町1-5	電話 和歌山 0734(31)2481	〒640
兵庫西支社	姫路市神屋町4-8	電話 姫路 0792(85)2221	〒670
豊岡支社	豊岡市三坂町6-57	電話 豊岡 0796(23)2221	〒668
湖南支社	草津市追分町字荒掘680-1	電話 草津 0775(62)5311	〒525
彦根支社	彦根市大東町12-11	電話 彦根 0749(22)3131	〒522
(長浜営業所)	長浜市南呉服町3-4	電話 長浜 0749(62)7171	〒526
本社・ガスビルサービスセンター	大阪市中央区平野町4-1-2	電話 大阪 06 (202)2221	〒541

大阪ガス株式会社

ガス風呂釜〈セントラル給湯機能付き〉

屋外設置型 31-930／931／932／933／934型
屋内設置型 31-935型

型式 GJ-24T1R-C
GJ-24T1T-C
GJ-24T1C-C
GJ-24T1B-C
GJ-24T1F-C

31-930

取扱説明書

大阪ガス

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い上げの販売店にお問い合わせください。

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス風呂釜（セントラル給湯機能付）を、お求めいただきましてありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保存してください。

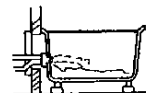
もくじ

特長・機能の紹介

● 給湯もふろ沸かしもこれ1台でOK!

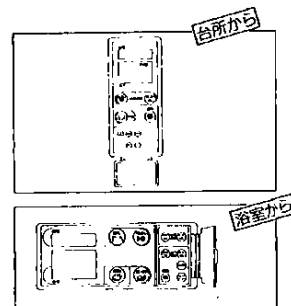
パワフルな24号給湯機とふろ釜を一体にした1台で2役のガス風呂釜です。

● ふたをしたまま自動お湯はり!

おふろは、ふたをしたまま、メーンコントローラまたは風呂コントローラのスイッチぽん/適温・適量のお湯はりができれば自動消火（ブザーでお知らせ）します。
台所からでもワンタッチで自動お湯はりができます。

● 温度調節はワンタッチ!

湯かげん調節はお台所からワンタッチ/台所や洗面所などで希望の設定温度が得られる電子コントロール式です。
（※設定温度は約38℃～約47℃, 約60℃, 約75℃）
さらに優先スイッチを押すと浴室で、お好みの給湯・シャワー温度（約38℃～約47℃, 約60℃, 約75℃）が得られます。

台所から

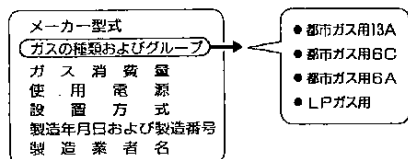
浴室から

シャワーを浴びながらおふろが沸かせます。

それぞれ独立して運転する方式です。シャワーと風呂追いだきの同時使用が可能、しかも能力は24号。

必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくためにこの項は必ずお読みください。

●使用ガスについてのご注意

●ガスの種類を確かめてください。
器具本体正面左下部にはってある銘板(ラベル)に表示のガスの種類およびガスグループ以外では使用しないでください。

●ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。

●転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

●使用電源についてのご注意

●この器具はAC100V. 60Hz用です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。

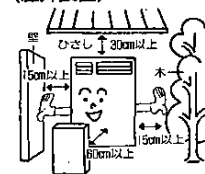
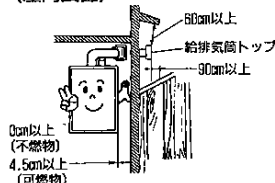
●器具の設置について

●器具の設置・工事は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社に依頼し安全な位置に正しく設置してご使用ください。

●使用上のご注意

■火災予防

●壁その他の可燃物から十分離れている場所で使用してください。

〈屋外設置〉

〈屋内設置〉

●器具のそばに燃えやすいもの（紙、洗濯物、揮発油など）を絶対においたり近づけたりしないでください。
特に排気口は、洗濯物などで、おおわないでください。不完全燃焼や異常過熱の原因になります。

■過熱防止

●ふろがまと浴そうを接続している風呂アダプターをタオルなどでふさがないでください。

■やけどに注意

●使用中及び使用後はしばらくは、器具本体の排気口やその周辺は熱くなりますので手をふれないでください。

●シャワーなど使用後すぐに再度お使いになるときは、手で湯温を確認してからお使いください。
(一瞬熱いお湯がでることがありますのでご注意ください。)

■用途について

●給湯・ふろのお湯はり・追いだき以外の用途には使用しないでください。

必ずお守りください

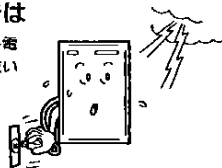
■市販の補助用具は

この器具の附属品・補助用具以外は使用しないでください。

■雷のときは

使用を中止し電源プラグを抜いてください。

■健浴剤・洗剤について

硫黄・酸・アルカリを含んだ健浴剤や洗剤は熱交換器が腐食する原因になりますので、健浴剤等のご注意文を十分ご参照ください。

■飲用にお使いのとき

器内に長時間たまっていた水は、飲用または調理に用いないでください。

●ガス事故防止

●ガス漏れに気づいたときは

- ●すぐに使用をやめて、ガス元栓を閉めお買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。
（絶対に使用しないでください。）
- ●また絶対に火をつけたり、電源プラグの抜き差しや、近くの電気器具の「入・切」をしないでください。

●燃焼状態の確認

点火・消火のほか、使用中もときどき正常に燃焼していることを、メーンコントローラまたは風呂コントローラの「燃焼表示 🔥」で確認してください。

●使用後は

運転スイッチを切ってください。

●長時間使用されない時

コントローラの運転スイッチを「切」にし、ガス元栓を閉めてください。
又、冬期には、凍結予防のための処置を行なってください。（P21～23参照）

●凍結についてのご注意

冬期は暖かい地方でも急な寒波のため、器具内の水が凍り器具が破損することがありますので器具内の水が凍るおそれのあるときは、凍結を予防する処置を必ず行なってください。
(21～23ページの「凍結予防方法」の項にしたがって処置をしてください。)

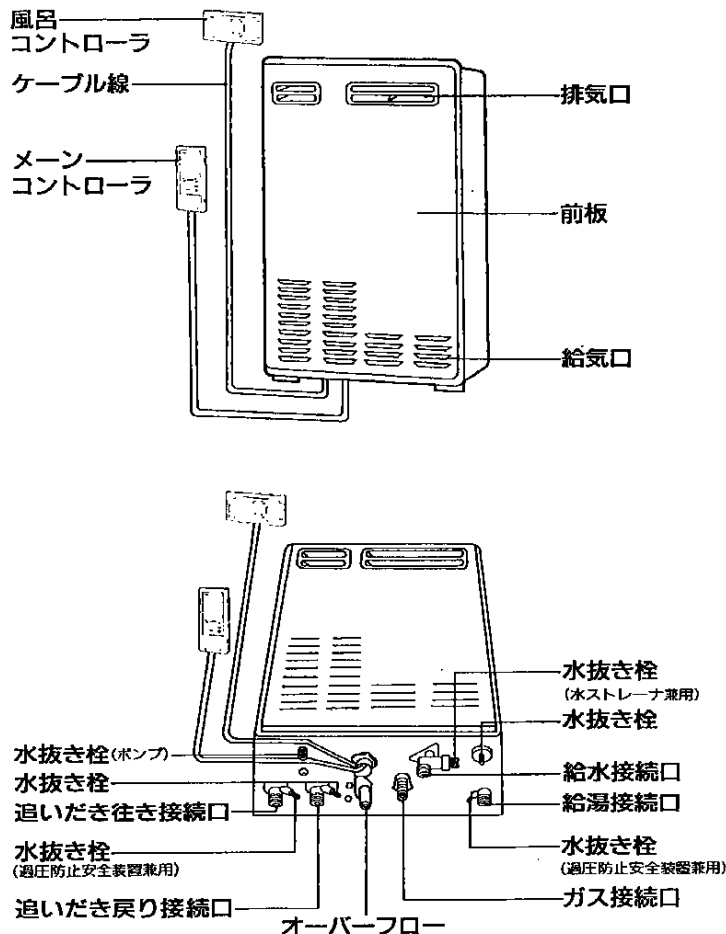
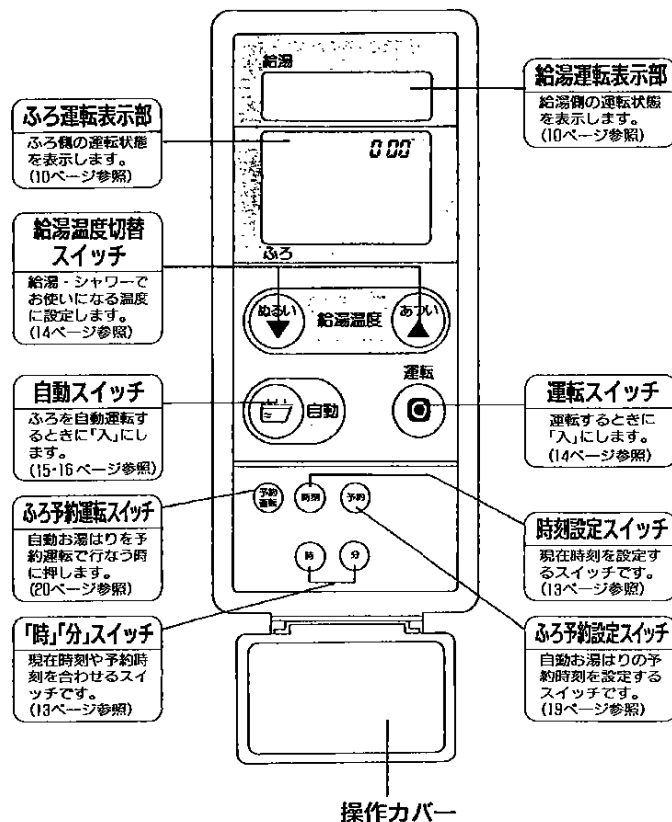
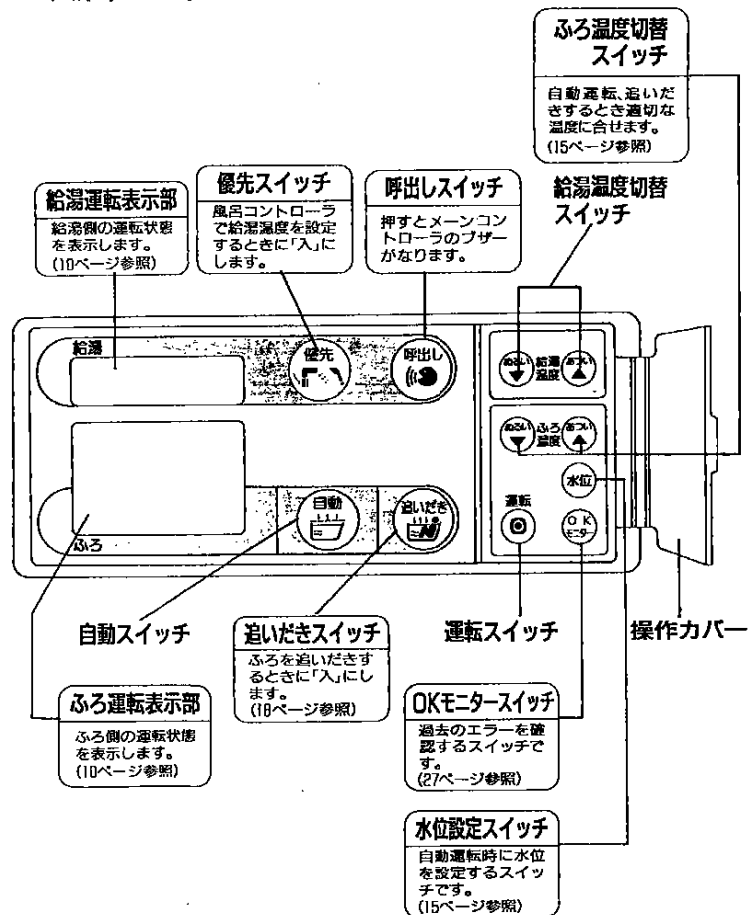
●使用中異常がおこったら

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、地震・火災の場合すぐに使用をやめて運転スイッチを切り、ガスの元栓を閉めてください。
(26～28ページの「故障かな?と思ったら」の項にしたがって処置してください。)

●停電がおこったら

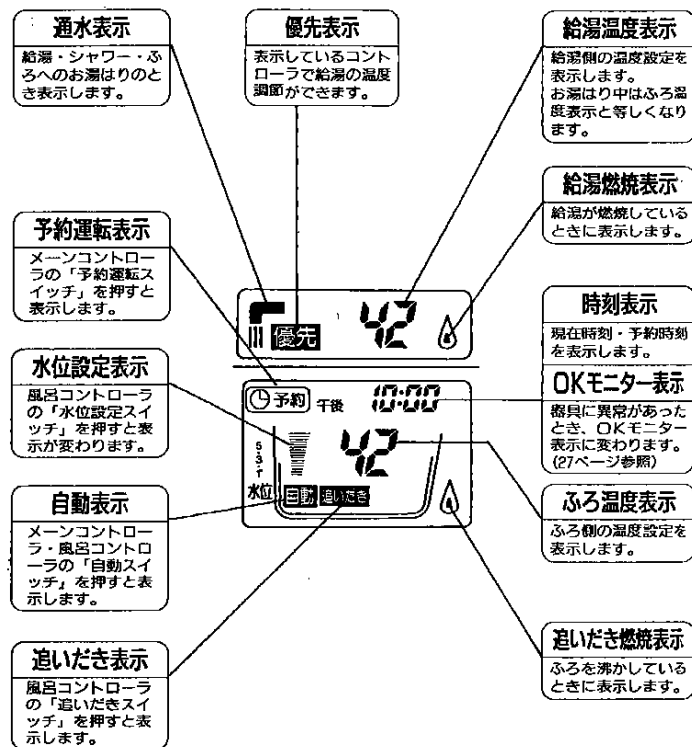
- ●停電の時は給湯栓を閉めてください。
- ●再通電時は時刻表示が「 000 」になります。
現在時刻設定・ふろ予約時刻設定・給湯温度設定・ふろ温度設定を行なってからお使いください。

各部のなまえと扱いかた

●器具本体

●メーンコントローラ

●風呂コントローラ

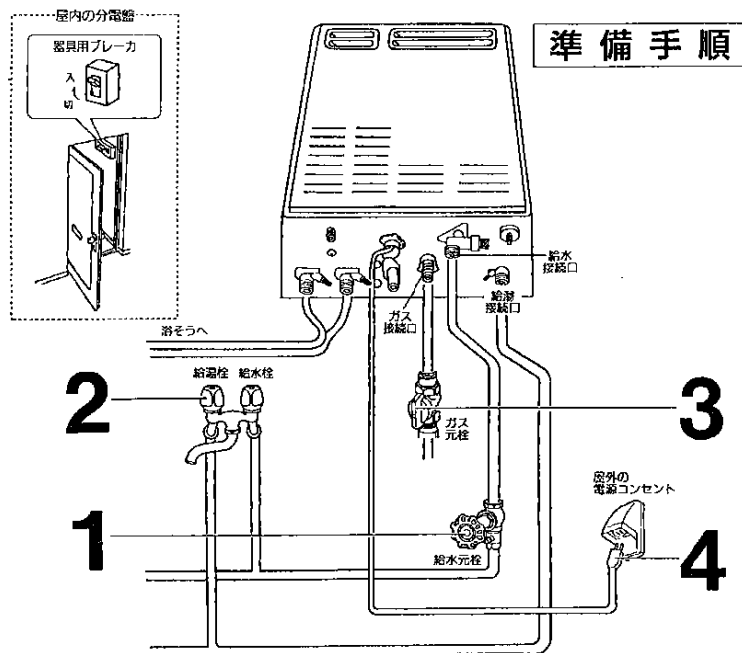
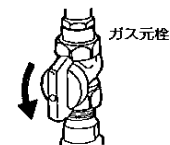
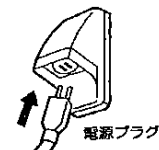
●メーンコントローラ・風呂コントローラで同じ呼称のスイッチ類はそれぞれ、はたらき操作方法も共通です。

各部のなまえと扱いかた

●画面表示(メーンコントローラ・風呂コントローラとも共通です。)

●上記画面表示は説明のため、全部表示したものです。
実際の運転のときは該当部分が表示されます。

初めてお使いいただくときに

1 給水元栓を全開にする

2 給湯栓を開け、水の出ることを確認し閉める

3 ガス元栓を全開にする

4 電源プラグを屋外のコンセントに差し込む

5 ポンプへ呼び水をする

この器具はポンプへ呼び水を自動的に行ないます。

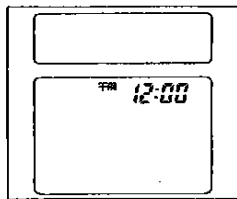
初めてお使いになるときおよび、凍結予防のため水抜きを行なった後は必ず、浴そうに水・湯がない状態で自動運転（15ページ参照）を行なってください。

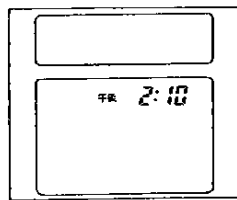
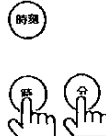
各部のなまえ

使用方法 現在時刻の合わせかた

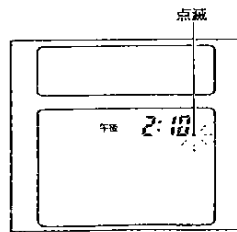
- メーンコントローラの操作カバーを開けて行なってください。
- 電源が「入」の状態で「 0:00 」が点滅します。
- 停電後の再通電時も「 0:00 」が点滅します。
- 運転スイッチ「入」「切」に関係なくセットできます。

1 時刻スイッチを押す

「午前 12:00 」が点滅します。

2 現在時刻を合わす

(例：現在時刻が、午後2時10分の場合)
「時」スイッチを押して「午後 2:00 」にします。次に分スイッチを押して「午後 2:10 」にします。

- 「時」、「分」スイッチは、一度押すと各々1時間、1分ずつ変わります。押し続けると連続して表示がかわります。

3 時刻スイッチを押す

- 時刻表示が点滅から点灯に変わり、時計が動きはじめます。
- 時刻表示の右下の「・」が点滅します。

使用方法 給湯のしかた

1 運転スイッチを押す

[風呂コントローラ・メーンコントローラのどちらかの運転スイッチを押す。]

- 給湯温度は、前回設定の温度を表示します。
- 前回設定の温度が「75」の場合は、安全のため「42」が点灯します。

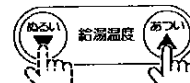
2 給湯温度切替スイッチを押して 温度を調節する

- 必ず 優先 表示を確認してから温度の調節をします。優先表示がされてないコントローラでは温度調節はできません。

- 温度切替は約38℃～約47℃の間及び約60℃、約75℃で調節できます。
- 給湯温度切替スイッチを押しつづけると、連続的に変わります。「60」から「75」は押しなおします。
- 温度設定が「75」の場合、ブザーでお知らせします。

〈メーンコントローラで調節する場合〉

- お好みの温度に調節します。

[メーンコントローラの 優先 表示が消えている時は風呂コントローラの優先スイッチを押します。]

〈風呂コントローラで調節する場合〉

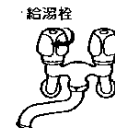
- お好みの温度に調節します。

[風呂コントローラの 優先 表示が消えているときは風呂コントローラの優先スイッチを押します。]

3 給湯栓を開ける

- 給湯側の「▮」「💧」が表示し、お湯が出ます。
- OKモニター表示「81」が表示している場合は、一度給湯栓を閉め、しばらく待った後、開栓します。

4 給湯栓を閉める

- バーナが消火し、給湯側の「💧」「▮」が消えます。

燃焼用送風機は、バーナ消火後約5分で停止します。

ご注意

- 自動お湯はり運転中に給湯を使用すると、温度は自動お湯はりで設定した温度になります。また水圧などにより、出湯量が少なくなる場合があります。
- 停電または、電源プラグを抜き差ししたあとに運転スイッチを入れると温度設定は「42」になります。

使用方法

使用方法 自動運転のしかた

- 自動運転の機能・原理は17ページを参照してください。
- 浴そうの排水栓を閉じてください。
- 浴そうにフタをしてください。

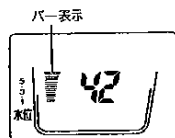
1 運転スイッチを押す

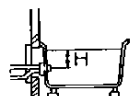
[風呂コントローラ・メーンコントローラのどちらかの運転スイッチを押す。]

- 給湯、ふろの温度表示は、前回設定の温度を表示します。
- 給湯側のお湯はり温度の表示は、自動スイッチを押した後表示します。

風呂コントローラで

2 お湯はり水位を設定する

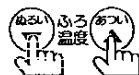
- 水位スイッチを押し、適切な湯量になる数字にバー表示を合わせます。
  (バー表示は水位スイッチを押すと上がっていき、5までくると下がっていきます。)
- 右表の数字で一度運転し、水位が高いときは小さな数字に、水位が低いときは大きな数字に合わせて、翌日試してください。

水位設定 目盛	H寸法(cm) 目安
5	約40
•	約33
3	約27
•	約20
1	約14

(一般的な設置例)

ご注意

- 洋風バスなどの浅い浴そうの場合、水位設定を高めにすると、お湯があふれることがあります。
- 浴そうの形状や施工状態によりお湯はり水位は多少変化します。

風呂コントローラで

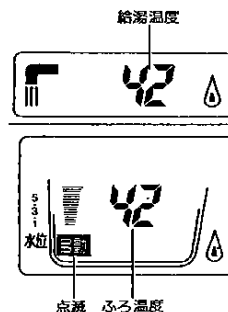
3 ふろ温度を設定する

- 適切な温度に合わせます。
  約35℃～約50℃の間で調節できます。

点　火

4 自動スイッチを押す

- 「自動」が点滅表示し、自動運転に入ります。
- OKモニター表示「81」が表示する場合、自動スイッチを「切」にし、再度「入」にします。

ご注意

- 給湯使用中に、「自動スイッチ」を「入」にしたとき自動運転にならない場合があります。
  この場合給湯栓を閉めますと、自動運転を開始します。
- 自動運転中に、「💧」「┏」が表示したり消えたりしますが異常ではありません。

消　火

自動で使用の場合、設定した水位・温度になると自動的に消火します。
(「自動」表示の点滅が点灯に変わり、4時間、保温・たし湯を続けます。)
途中で消火したい場合または自動運転を止める場合は次の操作をします。

5 自動スイッチを押す

「自動」表示の点滅または点灯が消えます。

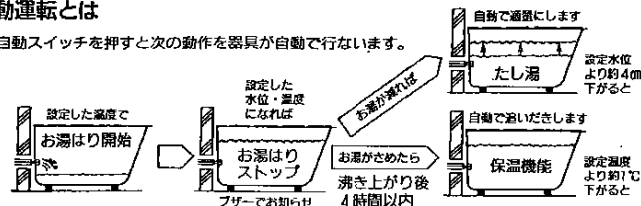
ご注意

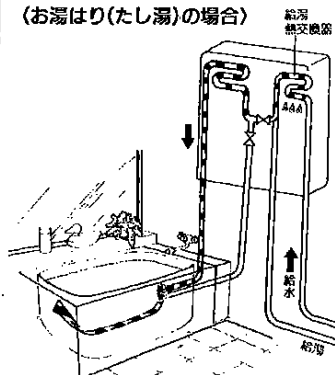
- 自動運転中は給湯温度の表示が、ふろ温度の表示と等しくなることがありますが異常ではありません。
  またこの時、給湯を使用しますと、ふろ温度表示の湯温になります。
- 自動運転中に給湯同時使用の場合は、お湯はり時間は長くなります。
- 自動運転中給湯温度の調節はできません。
  (給湯温度を調節する場合自動スイッチを「切」にしてください。)

自動運転のしかた

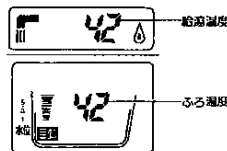
知っておきたいこと

自動運転とは

自動スイッチを押すと次の動作を器具が自動で行ないます。

自動運転の原理

〈お湯はり(たし湯)の場合〉　〈追いだき(保温)の場合〉

給水された水が「給湯熱交換器」を通り湯となって浴そうへお湯はりします。

浴そうからの戻り湯が「ふろ熱交換器」を通り、再び浴そうへ高温の湯を循環させます。

● お湯はり時は、「給湯熱交換器」が働くため、コントローラの「給湯温度」は「ふろ温度」に等しくなります。

保温・たし湯運転中は

● 温度検知は10分毎にポンプで循環して行ないます。
● 自動運転は、設定した水位・温度に沸き上がってから4時間後に、自動的に停止します。(自動表示が消えます。)

使用方法 追いだきのしかた

入浴時など湯がぬるくなったときの追いだきに使用します。

● 浴そうの風呂アダプターより10cm以上水が入っていることを確認してから操作してください。
● 追いだきで使用の場合、設定したふろ温度より約2℃高い温度まで沸き上げると自動的に停止します。

1 運転スイッチを押す

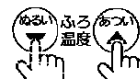
風呂コントローラ・メーンコントローラのどちらかの運転スイッチを押す。

● ふろ温度は、前回設定の温度を表示します。

風呂コントローラで

2 ふろ温度を設定する

約35℃〜約50℃の間で調節できます。

点　火

3 追いだきスイッチを押す

[追いだき]が点滅表示し、ふろ側の「💧」が表示し追いだきをはじめます。

OKモニター表示「84」が表示する場合追いだきスイッチを「切」にし、再度「入」にします。

消　火

途中で消火したい場合

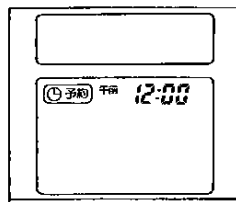
4 追いだきスイッチを押す

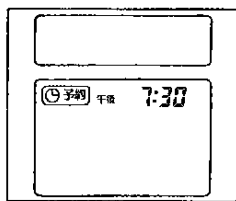
[追いだき]、ふろ側の「💧」表示が消えます。

使用方法 ふろ予約時刻の合わせかた

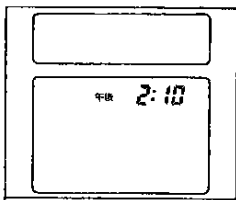
- ふろ予約時刻とは「お湯はり」または「沸き上げ」がほぼ完了する時刻をいいます。
- メーンコントローラの操作カバーを開けて行なってください。
- 運転スイッチ「入」「切」に関係なくセットできます。
- 現在時刻を合わせていないと、予約時刻はセットできません。

1 予約スイッチを押す

「午前 12:00」と「(予約)」が点滅します。

2 予約時刻を合わす

(例：予約時刻が、午後7時30分の場合)
「時」スイッチを押して「午後 7:00」にします。次に分スイッチを押して「午後 7:30」にします。

- 「時」、「分」スイッチは、一度押すと各々1時間、1分ずつ変わります。押し続けると連続して表示がかわります。

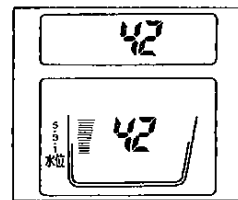
3 予約スイッチを押す

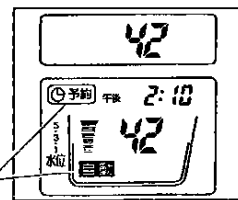
- 現在時刻に変わると同時に予約がセットされます。

- 予約時刻が点滅したままですと、予約時刻はセットできていません。
- 予約時刻をそのまま（約15秒以上）にしておきますと予約はセットされ自動的に現在時刻にもどります。

使用方法 ふろ予約運転のしかた

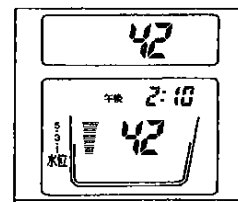
予約前に次のことを確認してください。
- 浴そうの排水栓を閉じてください。
- 浴そうにふたをしてください。
- 現在時刻を合わせてありますか。
- 予約時刻を合わせてありますか。

1 運転スイッチを押す

［風呂コントローラ・メーンコントローラのどちらかの運転スイッチを押す。］

2 予約運転スイッチを押す

- 「(予約)」表示します。
- 予約時刻近くになると運転を始め「(予約)」と「(自動)」が点滅します。

- 予約運転スイッチを押すと、予約時刻に「お湯はり」または「沸き上げ」がほぼ完了し、予約時刻までは保温を行ないます。
- 途中で取り消す場合、次の操作をしてください。

3 予約運転スイッチを押す

- 「(予約)」が消えます。

予約運転とは
- 予約時刻に「お湯はり」または「沸き上げ」がほぼ完了することをいいます。
- 予約時刻になると、ブザーでお知らせします。
- 予約運転設定中(器具が動きだすまでの間)は「自動」スイッチ、「追いだき」スイッチを押してもスイッチは入りません。
- 予約運転設定中でも「給湯」は使用できます。
  このような場合、「お湯はり」または「沸き上げ」時刻が遅くなる場合があります。
- 予約時刻を忘れた場合は、予約スイッチを押すと確認できます。

凍結予防方法

- 凍結すると器具や給湯配管が破損して、水漏れや、器具が異常をおこす危険性があります。
- 凍結予防ヒータ（次項参照）が内蔵されていますが、冷え込みが厳しいときは「方法2」または「方法3」で凍結防止を行なってください。

方法1

給湯側 凍結予防ヒータによる自動保温（気温が0℃〜−15℃無風の場合）

- 外気温が0℃近くになると運転スイッチの「入・切」に関係なくヒータのスイッチが入り保温します。
- 電源プラグは、絶対抜かないでください。［抜くとヒータが作動しません。］

ふろ側 ポンプ自動運転

- 外気温が0℃近くなるとサーモスタットの働きで自動的にポンプを動作させ、浴そうの水を循環させて凍結を防ぎます。

（注）凍結防止としてポンプを動作させますので、寒冷時は浴そうに必ず水を張った状態にしてください。

- 分電盤のブレーカは、絶対「切」にしないでください。
- 水位が風呂アダプターより10cm以上入っていることを確認。

方法2

給湯側 給湯栓から水を流す（冷え込みが厳しいとき）

1 運転スイッチを切る

2 ガス元栓を閉める。

3 お風呂の給湯栓を開ける。

ご注意

- 1分間に200cc程度（約3mm）の水を流し、念のため30分後に流量の確認をしてください。
- 電源プラグは抜かないでください。（ヒータによる自動保温も行なっています。）

ふろ側

方法1と同じです。

方法3 給湯側・ふろ側

器具内の水抜きをする（長期不在などのとき）

1 浴そうの水を排水する。

2 運転スイッチを切る。

3 ガス元栓を閉める。

4 給水元栓を閉める。

5 給湯側水抜き栓を開ける。（3箇所）

［2分程度そのままにする。］

6 給湯栓を開ける。

7 シャワーを床面まで下げる。

8 運転スイッチを「入」にする。

9 追いだきスイッチを押す。

［浴そうの風呂アダプターより水が出ることを確認し、3分程度そのままにする。］

10 ふろ側水抜き栓を開ける。（3箇所）

11 電源プラグを抜く。

屋外の電源コンセント
ガス接続口
給水接続口
ガス元栓
給水元栓

凍結予防方法

水抜き後の使用方法

次の順序で行なってください。

①水抜き栓を閉める。

⇩

②11ページの「初めてお使いいただくときに」に従ってお使いください。

凍結して水が出ない場合

①コントローラの運転スイッチを切る

⇩

②ガス元栓を閉める

⇩

③給水元栓を閉める

⇩

④給湯栓を開ける。

⇩

⑤水が出るまで待つ。

⇩

⑥凍結がとけたあと水漏れがないか確認し使用を開始する。

配管・バルブの凍結防止

「方法3」または「凍結予防ヒータによる自動保温」では、配管・バルブ類の凍結防止はできませんので、ご注意ください。

ご注意

- 凍結したまま使用しないでください。
- 凍結による修理は保証期間内でも有料です。

点検・お手入れ

● 点検・手入れの際のご注意

- 点検・手入れの前には、必ずガス元栓を閉じ、運転スイッチを「切」にして器具が冷えてから行なってください。
- 器具の前板などは、はずさないでください。
  (器具及びコントローラは絶対に分解しないでください。)

● 点検

- 器具の上や近くに紙、プラスチック、油類など燃えやすいものをおいていませんか?
- 排気口や給気口をふさいでいませんか?

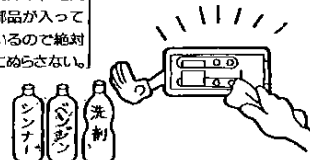
● お手入れの方法

●本体が汚れたとき

布または、スポンジに台所用洗剤(中性洗剤)をつけて、ふき取る。

●コントローラが汚れたときは

水をつけた布をかたく絞り、軽くふき取る。

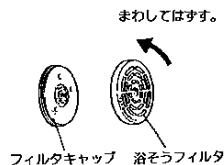
[内部は、電気部品が入っているので絶対にぬらさない。]

●浴そうフィルタのお手入れは

① 浴そうフィルタにはゴミや湯あか等が付着し、そのままにしておくと目詰まりを起こし器具の異常の原因になります。

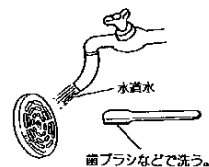
② 浴そうフィルタの掃除はつぎの要領で定期的に行なってください。

1 浴そうフィルタを取り外す。

まわしてはずす。

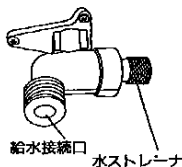
フィルタキャップ　浴そうフィルタ

2 掃除をする。

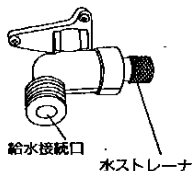
3 もとのように取り付ける。

フィルタキャップ

点検・お手入れ

●給水側水ストレーナのお手入れは

つぎの要領で定期的に行なってください。

1 給水接続口にある水ストレーナをはずす

2 水ストレーナを洗う

3 水ストレーナをもとにもどす

● 点検・お手入れ後の確認

- 点検・お手入れの後は、ガス元栓を開いて、運転スイッチを「入」にして給湯栓を開き、器具が正常に作動していることを確認してください。
  万一、異常な燃焼・臭気・異常音を感じられたときは、使用を中止し、ガス元栓を閉めてお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

● 定期点検のおすすめ

- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店にご相談ください。
- ふろがまが古くなると熱交換器やバーナにサビやスス、ほこり等がつまったりします。また取り付け場所によりバーナに「くも」が巣をはることがあります。このような場合不完全燃焼を起すことがあり、ときどきご使用中に異常(異常音、排気に不快な臭い、目にしみる等)がないか確認してください。異常に気づかれた場合は、使用を中止し、ガスの元栓を閉めてお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

故障かな?と思ったら

ご使用中に、ふだんと違った状態になったときや不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちに使用を中止され、十分な点検をしてください。

(●=主原因、▲=原因)

原因	現象										処置方法
	温度表示が点灯しない	「💧」表示が点灯しない	(メーンコントローラ)優先表示が点灯しない	給湯栓を開けても湯が出ない	使用中に水になる	高温の湯が出ない	低温の湯が出ない	使用中に湯温が極端に変動する	自動スイッチを「入」にしても、自動運転しない	ふろの沸きがおそい	
電源プラグがはずれている	●	●	●	●					●		プラグをコンセントに差し込む
ガス元栓の開き不十分		▲		▲	▲	●		▲	▲	▲	ガス元栓を全開にする
給水元栓の開き不十分		▲		▲	▲		▲	▲	▲		給水元栓を全開にする
配管内に空気が残っている		●		▲	▲				▲		点火操作を繰り返す
水ストレーナの詰まり		▲		▲	▲		▲	▲	▲		詰まりを除去する
断水している		▲		●					▲		給湯使用をいったん中止する
凍結している		▲		●					▲		解凍するまで使用を中止する
停　電	●	●	●	●	●				●	●	再通電するまで待つ
風呂コントローラの優先スイッチの「入」「切」が、適切でない。			●			●	●				風呂コントローラの優先スイッチの「入」「切」を正しく戻し、給湯温度切替スイッチで好みの温度に設定する。

処置方法や原因のわからないときは、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

故障かな?と思ったら

OKモニターについて

この器具には、不具合が生じたときにその原因をOKモニターで知らせる機能があります。
運転スイッチを「切」にし、OKモニタースイッチを押すと、過去のエラー表示が確認できます。
下表のOKモニターの表示に応じた処置を行なってください。
表示は時刻表示部に表示されます。　表示部は10ページ参照。

表示	原　因	処　置　方　法
41	給湯を連続90分以上運転したためです。	給湯栓を「閉」にして再度「開」にしてください。
43	ふろの沸き上げを連続90分以上運転したためです。	追いだきスイッチ(または自動スイッチ)を押しなおしてください。
83	浴そうからお湯があふれているためです。	自動スイッチを「切」にして水位設定を低くして再度「入」にしてください。
93	浴そうの栓をしていないためです。	自動スイッチを「切」にして浴そうの水を抜き、栓をしっかり閉めて再度「入」にしてください。
34	浴そうに湯[水]があるとき停電したためです。	
81	給湯側の燃焼が失火したためです。	ガス元栓が全開であることを確認後、給湯栓を「閉」にして再度「開」にしてください。
91	給湯側の回路に異常がおきたためです。	
84	ふろ側の燃焼が失火したためです。	ガス元栓が全開であることを確認後、追いだきスイッチ（または自動スイッチ）を押しなおしてください。
94	ふろ側の回路に異常がおきたためです。	
上記以外の表示がでる場合は、運転スイッチを「切」にして再操作してください。		

再操作しても同じ表示がでる場合は、分電盤のブレーカを切らないで、お買い上げの販売店または大阪ガスへ連絡。

●安全装置の種類とその働き

立消え安全装置

●メーンバーナの炎が消えたときは、安全装置が働いてガスを自動的にストップします。

過圧防止安全装置

●器具内の水圧が異常に上昇したときに作動し、器具内の圧力を下げて、器具の損傷を防止します。

給湯空だき安全装置(バイメタル式)

●万一、メーンバーナの火が消えずに、湯温が異常温度上昇したときは、ガスを自動的にストップします。この安全装置は自動復帰しません。

ふろ空だき安全装置(バイメタル式)

●万一、メーンバーナの火が消えずにふろがまを空だきしたときは、熱交換器の温度上昇を感知して、ふろの沸き上げ、追いだきを自動的にストップします。
この安全装置は自動復帰しません。

過熱防止装置(温度ヒューズ)

●万一、器具が異常温度上昇したときは、ガスを自動的にストップします。
この安全装置は自動復帰しません。

漏電安全装置

●器具内の電気回路に異常がおこり、漏電などの危険が生じますと、電気を自動的に停止します。
この安全装置は自動復帰しません。

凍結防止装置

●器具内の水が凍結するのを防止する装置です。外気温が0℃近くになると、給湯側は電気ヒーターによる自動保温、ふろ側はポンプ自動運転を行ないます。

●次のような場合は故障ではありません。

現　象	説　明
寒い日に排気口から湯気がでる。	排気ガスの水分が水蒸気に変わるためであり異常ではありません。
給湯停止後もファンの回転音がする。	再使用時の点火をより早くするため約5分間は回転しています。
お湯が白くなる。	水の中の空気が分離して気ほうとなるためです。
長時間、給湯を使っていると火が消える。	給湯を90分間連続して使うと自動的に火が消えるようになっています。
給湯栓を急に止めるとゴツンと音がすることがある。	水が急に止まるために発生する音です。(ゆっくり操作してください。)
自動お湯はりを約40分間、連続して使用すると、火が消え運転停止する。	浴そうの栓の閉め忘れの時などにはたらきます。［自動お湯はりを約40分間、連続して使用すると自動的に火が消え運転を停止します。］
給湯栓を絞ると火が消えて水に変わることがある。	器具が点火するに必要な最低水量以下になると消火します。

寸法図

仕　様

品種	31-930型	31-931型	31-932型	31-933型	31-934型	31-935型
形式名	GJ-24T1R-C		GJ-24T1T-C	GJ-24T1C-C	GJ-24T1B-C	GJ-24T1F-C
点火方式	連続放電点火式					
使用水圧(kg/㎠)	0.5~10					
最低作動水圧(kg/㎠)	0.15					
最低作動水量(ℓ/分)	2.0					
出湯能力(湯沸器)	24号~2.5号					
外形寸法(mm)	高さ750×幅480×奥行き180					
重量(kg)	35.5			36.5		
消費電力(W)	356(最大燃焼時180+凍結予防ヒータ作動時176)					
熱交換器 方式	2缶2水路					
熱交換器 材質	風呂釜：銅製・湯沸器：銅製					
操作方法	メーンコントローラ、風呂コントローラによる操作					
湯沸器能力切替え	無段階					
接続 ガス	都市ガス用 20A			LPガス用 15A		
接続 追いだき	(往き口)15A (戻り口)15A					
接続 給水	20A					
接続 給湯	20A					
接続 電気	器具本体電源AC100V					
本体とコントローラとの接続	メーンコントローラ……24V低圧用2心ケーブル(別売) 風呂コントローラ………24V低圧用2心ケーブル(別売)					
給排気筒径(mm)	——			φ100 最大延長7m4曲		φ100 最大延長7m3曲
安全装置	立消え安全装置(フレームロッド式)、風呂空だき安全装置、給湯空だき安全装置、過熱防止装置、過圧防止安全装置、漏電安全装置					
凍結装置	凍結予防ヒータ					
付属品	風呂コントローラ一式、メーンコントローラ一式、15Aろう付用継手、Y端子、メガネ端子、取付ビスセット					
付属品 31-930型	風呂アダプター、壁取付金具、M5木ネジ、カールプラグ、フレキシブル管					
付属品 31-935型	壁取付金具、M5木ネジ、カールプラグ					
別売部品	風呂アダプター(ロー付タイプショートL型)36-931型、風呂アダプター(フレキ接続ショートL型)36-932型、厚肉浴槽用風呂アダプター36-934型、配管カバーセット36-936型、コントローラ接続用ケーブル線38-132型、排気カバー36-935型、厚壁用スリーブ36-050型、サブコントローラ36-937型、風呂アダプター(ロー付タイプショート型)36-930型、扉内設置用取付ボックス 49-179型、給排気筒トップ(壁厚90~130mm)95-945型・(壁厚130~210mm)95-946型・(壁厚210~370mm)95-947型・(壁厚370~690mm)95-948型、給排気筒トップ95-949型					
日水協認可登録番号	A-4610					
BL認可番号	KT-0186					

ガスの種類		都市ガス6C用	都市ガス13A用	都市ガス6A用	LPガス用
形式名		GJ-24T1R-C、GJ-24T1T-C GJ-24T1C-C、GJ-24T1B-C	GJ-24T1R-C、GJ-24T1T-C GJ-24T1C-C、GJ-24T1B-C GJ-24T1F-C	GJ-24T1R-C	GF-GJ-24T1R-C、GF-GJ-24T1T-C GF-GJ-24T1C-C、GF-GJ-24T1B-C GJ-24T1F-C
最大ガス消費量(kcal/h)	風呂釜	12,000			1.00(kg/h)
	湯沸器	45,000			3.75(kg/h)
	同時使用	52,000			4.33(kg/h)
最大ガス流量(㎥/h)	風呂釜	2.8	1.2	1.8	1.00(kg/h)
	湯沸器(大)	10.6	4.3	6.8	3.75(kg/h)
	同時使用	12.3	5.0	7.9	4.33(kg/h)
出湯能力(ℓ/min)(能力大)(水圧1kgf/㎠)	水温+25℃上昇	(24.0)			
	水温+40℃上昇	15.0			

●器具本体より第3種接地工事(アース)が必要です。

保管とアフターサービス

●長期間使用しない場合

●長期間使用しない場合は次の操作をしてください。
(1)ガス元栓を閉じる。
(2)給水元栓を閉じる。
(3)器具の水抜きを行なう。(水抜き方法は22ページを参照してください。)
(4)電源プラグを抜く。

●アフターサービスのお申し込み

●26～28ページの「故障かな?と思ったら」の項を見てもう一度確認してください。

●確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店または、もよりの 大阪ガス支社にご連絡ください。なおご連絡いただくときは次のことをお知らせください。
(1)品名 ………… ガス風呂釜
(2)品番 ………… 正面左下部に貼付してあります。
(3)故障・異常の現象 ………… (できるだけ詳しく)
(4)お客様名・住所・電話番号・道順

(N)31-930(U)
大阪ガス株式会社 05

●転居される場合

●ガスの種類の異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

●保証・補修について

●保証期間中には……
保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。
保証書を紛失されますと、保証期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
●保証期間経過後の故障修理について
お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
この製品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打切後10年間です。

メ モ 欄